



KITANO 2021



チャレンジする北野

—本校の特色ある取組み—

北野高校では、140年を超える歴史のなかで培われてきたアカデミックな校風のもと、「豊かな個性・高遠な理想・社会への貢献」をテーマに、学習と学校行事・部活動を両立し、知・徳・体のバランスのとれた自律性ある生徒を育むことを基本方針として、これまでに数多くの優れた人材を社会に輩出してきました。

また近年では、平成14年度～20年度の7年間は、大阪府教育委員会から『次代をリードする人材育成研究開発重点校』いわゆる『エルハイスクール』に、平成14年度～18年度の5年間は、文部科学省から『理数系教育に重点をおく教育を実践・研究する研究開発校』いわゆる『スーパーサイエンスハイスクール(SSH)』に指定され、21世紀をになう創造力あふれた人材や、先端的な科学技術を支える人材の育成をめざして、組織的で計画的な教育実践に取り組んできました。

さらに、平成23年度からは大阪府教育委員会より「豊かな感性と幅広い教養を身につけた、社会に貢献する志を持つ知識基盤社会をリードする人材を育成する」ことを目的とした『グローバルリーダーズハイスクール(GLHS)』に指定されました。そして、平成26年度から、文部科学省より「急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、社会課題に対する関心と深い教養に加え、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成する」ことを目的とした『スーパースーパーグローバルハイスクール(SGHS)』に指定されました。令和元年度からは、SGHSの後継事業で、「Society 5.0の時代に向けて、イノベティブなグローバル人材の育成」を目的とした『ワールド・ワイド・ラーニングコンソーシアム構築支援事業』の、大阪府における拠点校に指定され、「文理両方を学ぶ高大接続改革」に主眼を置いたカリキュラム開発をおこないます。

これまでの伝統と近年の先進的な取り組みに培われる「北野の教育」を、さらに充実させて取り組んでいきます。

令和3年度

中学生・保護者対象 学校説明会

10月 9日(土)

11月 13日(土)

詳細はそれぞれ約1ヶ月前にホームページにてご案内します。

目 次

北野高校の概要　ーチャレンジ精神が伝統を築くー	1
文理学科について	2
令和4年度入学生各学年授業数(2週間あたりの授業回数)	3
高い学力・豊かな感性・たくましい体力をめざして　ー本校の取り組みー	4
WWL (ワールド・ワイド・ラーニング) 概要	6
探究的な学習	8
10年目を迎える学内留学	9
学校行事	10
自ら考える進路実現　ー北野高校生の選択ー	12
心のケア（教育相談）	14
国際交流	15
北野生の1日（学校生活） ・入学初年度に係る諸経費	16
部・同好会活動記録	17
生徒自治会	19
充実した教育環境	20
沿革	23
番外編 ・先輩からのメッセージ	24
・保護者からのメッセージ	28
・『六稜魂』とは　～卒業生アンケートから～	31

☆チャレンジする北野

☆六稜魂

やるべきことをやり抜く忍耐力

何事にもチャレンジする精神力

☆文武両道

活気ある部活動。公式戦好成績等

何事にも全力！

北野高校の教育方針

全人教育

知・徳・体のバランスがとれた豊かな人間性と

心身のたくましさを備えた生徒の育成

☆多彩な文化的

体育的行事

☆授業第一主義

35 単位 65 分5コマ授業 少人数展開 授業時間、放課後時間も十分に確保

本質に迫る深い内容の授業！難しいことも興味深く！探求的学習の充実

☆アカデミックな校風

知的好奇心に応える授業内容。教科書を超えて、より深く、さらに広く、自由に。

授業以外でも自由闊達に、交わされる知的で探求的な会話

大学との連携プログラムや、講演会、各界で活躍する卒業生との交流

☆グローバルリーダーズハイスクール

卓越性を追求し、日本一の公立高校をめざす

豊かな感性と幅広い教養を身につけた社会に貢献する人材を育成することを目的とする

進学指導に特色を置いた専門学科

すなわち…

単なる大学進学のためのステップではなく、北野で過ごす3年間そのものが濃密で価値ある時間。

勉強だけの高校生活なんて、もったいない。

何事にも全力でチャレンジ！仲間と正真正銘の切磋琢磨

◆文理学科について

文理学科	人文科学・社会科学・自然科学の各領域で、探究的な学習を行い、多角的な視点で物事を考え、未知の状況にも的確に対応する力や、価値観や文化の異なる人たちと協調して国際社会で活躍する力をはぐくむ。（大阪府教育課程基準より）
------	---

文理学科は進路希望により、2年進級時にさらに「文科」と「理科」の各小学科にわかれます。

文科 (人文社会国際系)	人文科学・社会科学の領域を深く学び、幅広い学問的素養を養うとともに、言語力や論理的思考力を鍛え、国際人にふさわしい知性と豊かな感性を身に付けた、グローバル社会をたくましく生き抜く人材を育てる。（大阪府教育課程基準より）
理科 (理数探究系)	科学及び数学における基本的な概念・原理・法則などについての系統的な理解を深め、科学的、数学的に考察し表現する能力と態度を育て、創造的な能力と、科学的探究力の育成に力点を置いた指導を行い、科学技術立国をリードする人材を育てる。（大阪府教育課程基準より）

文理学科では、専門科目を3年間で合計25単位以上学習することになっています。「単位」とは50分の授業を週あたり何回受けているかを表し、たとえば週3回行われる授業は3単位です。本校では65分の授業を実施していますので、週あたり1回の授業は1.3単位に相当します。

アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

本校は、アカデミックで自由闊達な校風のもと、文武両道の実践を大切にしてきました。そのなかで、知・徳・体のバランスがとれ、豊かな人間性と心身のたくましさを備えた生徒を育てることをめざしています。これは140年を超える歴史のなかで培われ、これまで数多くの優れた人材を輩出してきた本校の教育理念です。この理念を理解し、高い志とチャレンジ精神によって自らの進路を切り開き、高邁な理想をもって社会に貢献する生徒を望みます。

- 1) 授業を中心としたあらゆる教育活動に真摯に取り組み、互いに切磋琢磨していきける生徒
- 2) グローバル化が急速に進むなかで、社会の課題に関心を持ち、国際社会のリーダーとしてふさわしい次のような能力や態度を身につける意欲のある生徒
 - ・多角的な視点を持ち、ものごとを洞察する力
 - ・主体的に課題を解決しようとする態度
 - ・コミュニケーション能力
 - ・自己を確立するとともに、互いの違いを認め合い尊重しようとする態度
- 3) 自然科学及び人文・社会科学における基本的な知識や技能について、系統的に習得し、理解を深め、また、論理的思考力を鍛えることによって、科学的に考察し表現する能力や態度を身につける意欲のある生徒

◆参考：令和3年度入学者選抜（令和4年度については未定の部分あり）

- ・文理学科（募集人数：320名 総合点は①および②に倍率※をかける：900点）

	学力検査①					調査書②									
	国	社	数	理	英	国	社	数	理	英	音	美	保体	技・家	
配点	90	90	90	90	90	50	50	50	50	50	50	50	50	50	

総合点等による選抜に加え、自己申告書、および調査書中の「活動／行動の記録」を資料とし、アドミッション・ポリシーに基づく選抜を行う場合があります。

※倍率は①を1.4倍(630点満点)、②を0.6倍(270点満点)。

令和4年度入学生 各学年授業数の予定（2週間あたりの授業回数）

現在の予定で、今後変更される可能性があります。

1日5時限授業（1授業時間は65分）で、時間割は11日分、授業回数でいうと55時限分で1サイクルです。

- ・A週(月～金)5日分、B週(月～金)5日分、C1日分で合計11日分。
- ・この11日分の授業を、行事、祝祭日で抜ける曜日を調整しながら配分することにより、各教科の授業回数に偏りがないように工夫しています。

1 年	文 理 学 科	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56
		現代の国語	言語文化			歴史総合			歴史総合／公共			公共			理数数学Ⅰ						理数化学			理数物理			理数生物			体 育			体 育／保 健		芸 術Ⅰ			総合英語Ⅰ						ディベート・ ディスカッションⅠ		家庭基礎			国際情報			総合／H R					

- ・芸術は「音楽・美術・書道」の中から選択します。

2 年			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56
	文理学科	文科	論理国語	文学国語	古典探究	地理総合	日本史探究	世界史探究	理数数学Ⅱ	地学基礎	体育	体育／保健	芸術Ⅰ	総合英語Ⅱ	ディスカッションⅠ	家庭基礎	課題研究	総合	ＨＲ																																							
		理科	論理国語	文学国語	古典探究	地理総合	日史／世史	理数数学Ⅱ	専門化学	専門物理／ 専門生物	体育	体育／保健	芸術Ⅰ	総合英語Ⅱ	ディスカッションⅠ	家庭基礎	理数探究	ＨＲ																																								

2年次から、文科・理科に分かれます。

- ・文科(人文社会国際系)・理科(理数探究系)では、社会の科目数、理科の選択科目、数学の授業の進め方が異なります。
- ・「日史/世史」は「日本史探究」「世界史探究」からの選択、
「専門物理/専門生物」は「専門物理」「専門生物」からの選択です。
- ・「総合的な探究の時間」は課題研究を行います。

3 年			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55
	文科	論理 国語	文学 国語		古典 探究			地世 政／／ ①倫日 ／／				地世 政／／ ②倫日 ／／				理数 数学特論						物／ 生		化／ 地		体育		総合 英語Ⅲ						一般 選択		HR																					
		理科	論理 国語	文学 国語		古典 探究			地世 政／／ ①倫日 ／／				理数 数学特論						専門 化学						専門 物理／ 専門 生物		体育		総合 英語Ⅲ						HR																						

3年次では、「文科」「理科」で大きく各教科の授業回数が異なります。

- ・「世/日/地/倫/政」は「世界史」「日本史」「地理」「倫理」「政治経済」の中から1科目を選択します。
- ・文科の「物/生」「化/地」はそれぞれから1科目選択します。
- ・理科の「専門物/専門生」は「専門物理」「専門生物」から2年生で選択した科目を継続して履修します。
- ・「一般選択」はいくつかの科目から1科目選択します。

高い学力・豊かな感性・たくましい体力をめざして 一本校の取り組み

北野高校では、高い学力・豊かな感性・たくましい体力を身につけることができるよう「授業第一」を基本にし、すべての生徒に充実した学習環境を保障しています。また、一人ひとりの夢と志の実現に向けた進路指導や、参加・受講が可能な「大学との連携プログラム」も充実しています。

また、学習面にとどまらず、個性と可能性を大きく伸ばす様々な学校行事や活発な部活動、心のケアに配慮した教育相談の充実は、生徒一人ひとりに充実した学校生活と健やかに成長する環境を約束します。そして、伝統に培われた実績とアカデミックな校風は知・徳・体のバランスのとれた人間形成を実現させます。

これまでの実績は、これら生徒の力を大きく育むノウハウや学習環境があるからこそ実現されているものです。

<高い学力を保障する取り組み>

二学期制 65分授業

前後期制・65分授業の導入により、実授業時数と時間の総量を確保しています。

1限(1コマ)65分授業の実施により、余裕のある授業や演習・実習・実験をふんだんに取り入れた授業が可能となり、授業の効率向上と質的充実が達成されています。

また、3年生の国語・数学・英語で少人数制の授業を実施し、一人ひとりにきめ細やかで配慮の行き届いた授業を行っています。

探究的学習活動の充実

純粋な疑問、知への好奇心を出発点とし、納得するまで追究する。そのような学びから新鮮な発見や知ることへの喜びが生まれ、深い知識と知恵、高い応用力が育まれます。

興味ある分野に関する探究活動に個人やグループで取り組み、じっくり考え、自分たちの考えを効果的に伝えていく。そのような授業が2年生で実施されます(p8参照)。

自習室の開設

今年度は月～金の始業前(夏時間7:15～8:05)および放課後に自習室(自主学習スペース)を開室しています。

長期休業日・土曜日の効果的活用

夏季休業期間を短縮し、3年生は、7月30日、1. 2年生は7月21日まで授業を実施、8月23日から再開します。

また、3年生は12月2日から特別時間割を編成、受験に対応した体制を整えています(令和3年度)。

ハイレベルな授業をめざして

生徒による授業評価、教員相互の授業見学を通じて、授業力の向上に取り組んでいます。

また、各学年において年5～7回程度、土曜日の午前に平常授業を実施しています。

充実した学習環境

本校の施設・設備は、日常の学習はもちろん、生徒一人ひとりの興味・関心に十分応えられるようになっています。

まず、物理・化学・生物・地学の各実験室には本格的な実験設備・機器が完備され、理科の授業や生徒の探究的研究活動に活用されています。また屋上に設置された「六稜天文台」は、高校では日本屈指の口径の望遠鏡が設置され、天体観測が可能です。

また、音楽室は、音響の面で配慮された総木製の壁材を使用した構造です。

そして、「図書館」。8万冊近くの蔵書を誇るだけでなく、自然を感じる落ち着いた空間は、読書や自習に集中することができる場所となっています。その他、学校行事や部活動の発表会などで活用されている「多目的ホール」や「六稜会館(同窓会館)」など、演奏会やプレゼンテーション発表などさまざまな教育活動に生かされています。体育施設も充実。300mトラックが可能な広大な「グラウンド」や高校ではめずらしい「50mプール」などは、授業や部活動などにおいて生徒のゆとりある活動を保障しています。

＜豊かな感性とたくましく生きるための健康と体力を育む取り組み＞

体育的活動の充実

年間を通して、縄の径1cmのロープを使用した縄跳び、リニューアルした縦50m、横25m、水深180cmのプールをフルに活用しての水泳授業、河川敷を利用した持久走など、伝統ある教育活動を体育の授業に取り入れることによって、体力とともにたくましい精神力を培い、進路希望を実現する力、困難に立ち向かう力も育みます。体育大会や水泳大会、断郊競走など、体育の授業の成果が発揮される体育系行事は、迫力とともに一生懸命さが爽やかに発揮されています。

文化的活動の充実

芸術科・家庭科の授業時数確保に努めています。文化系の部活動も非常にさかんで、これらの授業の成果は、「文化芸術祭」で展示・発表され、北野生一人ひとりの熱心な取り組みを見ることができます。

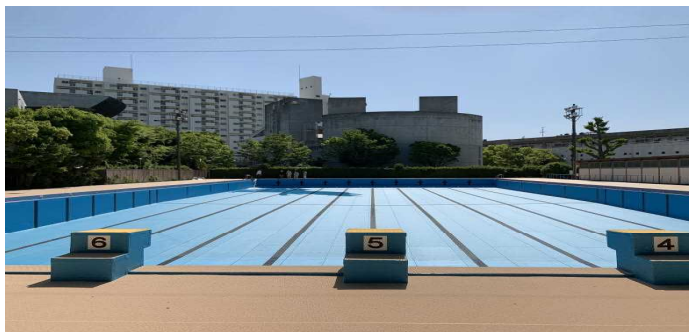
さかんな部活動

およそ60～65%の生徒が運動部に、30～35%が文化部に加入して活動を行っています。

現在、運動部20、文化部19、同好会2が活動中です。(p17～19参照)。

多くの学校行事

5月の「球技大会」、6月の「六稜祭」、9月の「水泳大会」、10月の「体育大会」をはじめ、WWL関連、防災関係、各界で活躍する卒業生を招いての講演、進路関係、即興型ディベート研修、学内留学・・・など、多岐にわたる学校行事が実施されています。生徒自治会を中心に生徒が主体となって運営する行事も多く、さまざまな行事を通じて、視野を広げたり、クラスメイトなどとの親睦や団結を深めたり、授業だけでは経験できない多くの学びを得ることができます。(p10,11参照)。



＜高い志を育み、進路実現をめざす取り組み＞

高大連携

平成13年から17年間、大阪大学基礎セミナーが開講され、北野生が大学に通って研究や学問に直接触れる機会の先駆けとなりました。その後、北野高校からほど近く、進学者も多い京都大学・大阪大学などのご協力のもと、様々な連携プログラムが実施されています。また、大学の先生方をお招きして講演をしていただく「知的世界への冒険」を毎年開催しています。その他、大学病院の手術室を見学するプログラムも実施。

これらの経験により、自らの進路をじっくり見定めていくことができます(p12参照)。

卒業生によるガイダンス

各界で活躍する本校の卒業生も、現役の北野生にとって憧れの存在であり、生徒の夢や志に大きな影響を与えます。本校ではさまざまな分野で活躍する卒業生を招き、1、2年生対象のガイダンスを毎年実施しています。

1年生では、生徒の興味・関心が高い職業について、仕事の内容やその職業をめざすための心構えなどをお話しいたします。

大学・学部を決定していく2年生では、大学院生などをお招きして研究内容や学生生活などのお話をうかがいます(p12参照)。

WWL (ワールド・ワイド・ラーニング)概要

昨年度より文部科学省が実施する、WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業（2019年度から2021年度までの3年間の事業）について、大阪府教育委員会が管理機関に、本校がその拠点校に採択されております。

WWL の目的

Society 5.0 の時代に向けて、イノベティブなグローバル人材を育成するため、文系・理系を問わず各教科等をバランスよく学ぶ教育課程を編成するとともに、高等学校等と国内外の大学、企業や国際機関等が協働して、先進的カリキュラムの研究開発・実践、テーマに関連した高校生国際会議の開催等の、高校生へ高度な学びを提供する体制整備を進めることが目標とされています。

構想名「いのち輝く未来を創造するイノベティブなグローバル人材育成」

大阪では、JR 大阪駅北側の再開発地区や隣接する中ノ島において、医・商・工連携による最先端医療開発とグローバルビジネスの実現に向けた取り組みが進められ、また 2025 年の大阪・関西万博では、「多様で心身ともに健康な生き方」がテーマに掲げられています。これを受けて、大阪府教育委員会による「いのち輝く未来を創造するイノベティブなグローバル人材」構想名の下、本校は拠点校として、「健康・医療」と「幸福」をテーマに GLHS（グローバルリーダーズハイスクール）10校から成る AL（アドバンスラーニング）ネットワークを構築するとともに、国内外の連携校との協働プログラムや、国内外の大学・企業との連携による高度な学びを提供する社会連動型のプログラムを展開して、WWL コンソーシアム構築の役割を果たすことが期待されています。

AL ネットワーク形成に向けての本校の取り組み

拠点校として本校では以下の取り組みを3年間の間に行う予定です

○高等学校の先進的なカリキュラムの研究開発・実践

新しい時代を生きる上で必要な論理的思考力や科学的リテラシー、データ解析や統計処理、データサイエンス・デザイン思考を育成するためのカリキュラムを開発します。

○テーマに関連した課題研究の実施

WWL 課題研究を選択した生徒は「健康・医療、幸福」に関する課題研究を行います。この講座では文系・理系によらない様々な分野の講師を招聘した講義等を受けるとともに、課題研究を協働して実施することで、文理を分断しない形での学びにつなげていきます。

○海外研修の実施

海外でのフィールドワークや海外提携校の訪問を通して、「健康・医療、幸福」に関する課題研究の深化を図ります。（新型コロナウイルス感染症拡大のため令和元年度・令和2年度は中止）

○課題研究発表会（フォーラム）の実施

2022年2月5日（土）に大阪大学（予定）にて、WWL コンソーシアム構築事業フォーラムを実施します。

○テーマと関連した高校生国際会議の開催計画

2022年1月に拠点校と国内外の連携校の生徒が集まり、課題研究の内容について課題解決の方策を社会に提言する国際会議の開催を予定しています。

○大学等による高度な学びの提供

以下の事業協働大学の協力のもと、大学の講師による講演や体験プログラムの実施を行います。また将来的には、大学教育の先取り履修の実施や、オンラインで高度な学びを提供できるシステム構築をめざします。

事業協働大学

- ・大阪工業大学
- ・大阪市立大学医学部
- ・奈良県立医科大学
- ・大阪教育大学教職大学院
- ・大阪大学

研究成果の発信

- ・本校主催の研究発表会を行い、専門家とも意見を交換して学びを深めます。
- ・大阪府教育委員会、拠点校及び連携校ホームページで日本語、英語により WWL コンソーシアム構築支援事業における取り組みを広く発信します。
- ・大阪府指定 GLHS(グローバルリーダーズハイスクール)主催、GLHS10 校合同発表会や、大学主催、他の発表会等において研究発表を行います。
- ・近隣の小中学校や地域住民を含めた一般参加型公開発表会を実施します。

WWL 事業では、英語によるコミュニケーション能力を発揮できる生徒の育成に力を入れています。各種発表・提言の場で英語プレゼンテーションを行うほか、英語による即興型ディベートにも積極的に取り組みます。

探究的な学習

平成 14 年度に大阪府で最初にSSHの指定を受けて以来、本校ではスーパーサイエンスコースの2年生を対象に「課題研究」を実施してきました。この授業は、グループまたは個人で自然科学に関する研究テーマを設定し、通年にわたりそれぞれの探究活動を進めていくというものでした。その後現在に至るまでこの取り組みは継承され、さらに発展してきました。

課題研究

「文科」では主に人文・社会・国際系に関するテーマについて、「理科」では、主に自然科学に関するテーマについて、2年生の1年間、週1コマ（65分）の授業時間にそれぞれの担当教員の指導の下、探究活動を行っています。

1年という長い期間の研究ですが、グループの中で一人ひとりの考えを出し合って話し合い、また、さまざまな調査や実験などを繰り返しながら、テーマに関連する課題の解決に一步步迫っていきます。1年間の探究活動の成果は、校内あるいは校外での発表会などで、大学の先生方や保護者の方の前で発表するとともに、論文にまとめていきます。

また、平成26年度からの5年間、文部科学省よりSGHの指定を受け、「アジアと学び合う夢を実現する国づくり」というテーマのもと、探究活動に取り組んできました。成長著しい東南アジア諸国を比較文化的、経済的、歴史的アプローチ等に基づいて探究し、得られた成果を日本の国づくりに活かすことのできる人材を育成するというねらいのもと、課題研究においても文科・理科両方の生徒が選択できる文理融合型のSGH関連講座を開設。その中では英語による講義やワークショップも企画されました。

WWLコンソーシアム構築支援事業の拠点校に指定された一昨年度からは、「健康・医療」、「幸福」という大テーマに沿った内容の課題研究WWL関連講座が設置されました。選択した生徒は地域振興、建築、健康な生活、持続可能社会などの課題について探究活動を進めています。



10年目を迎える学内留学（課題研究基礎力養成講座）

オールイングリッシュで大学レベルの授業体験を！

本校では平成24年度より、ネイティブ講師による、大学レベルの一般教養講座「北野高校学内留学（課題研究基礎力養成講座）」を実施しています。この講座では課題研究に必要な思考力、情報収集力、分析力、まとめ・表現力向上と英語力向上をめざし、オールイングリッシュで実施しています。

講座は1、2年生対象に年間4回実施。内容は「天文学」「環境学」「心理学」「ビジネス学」の4分野です。毎回、1時限あたり50分の授業で5時限にわたり、ネイティブ講師と生徒による英語のみの授業が展開されていきます。

令和2年10月3日、11月14日、12月5日、令和3年1月16日〔全て土曜日〕の全4回の日程で実施したこの講座は、80名の生徒の参加を得ました（各コース20名）。1月16日（土）の最終回では、各専攻の中から1グループずつが選出され、多目的ホールにて、プレゼンテーションを行いました。各科目担当ネイティブ講師により学内留学を通して優秀な成果を残すことのできた生徒の選出を行い、表彰、また最後に、参加した生徒全員へ学内留学修了証の授与が行われました。

4回の講座を終えて講師からは生徒の誠実で熱心な受講姿勢が素晴らしい、と評価する声が一様に聞かれました。



学校行事

1年を通じてさまざまな学校行事が行われ、クラスや学年の親睦・団結が深められています。（令和3年度は、緊急事態宣言により変更されています。）

4月

入学式

新入生オリエンテーション
前期始業式・対面式
創立記念日



生徒自治会
前期役員選挙
予算・決算総会

5月

1年 総合学習

H31年度までは宿泊学習として、チームビルドや学年レクリエーション、京都大学を訪問を行いました。コロナ禍の令和2、3年は、校内で卒業生を招いての研修や、学年・クラスレクリエーション、論理ゲームを実施しました。卒業生の講話に大きな刺激を受けた様子でした。

前期第1中間考査

球技大会

初夏の一日、全学年がクラス対抗形式でハンドボール・バレーボール・ソフトバレーボール・サッカー・ドッジボール等で競い合います。白熱したプレーとクラス挙げての応援が見ものです。令和2年中止。令和3年縮小して実施

りくりょうさい 六稜祭

いわゆる文化祭にあたる行事が北野高校には2つあります。1つはこの「六稜祭」で、娯楽的な要素も盛り込んだ学園祭として毎年6月上旬の日曜日に実施されます。

生徒組織の六稜祭準備委員会および六稜祭実行委員会が中心となって企画を進め、クラス・文化部・生徒有志のさまざまな 演目で一日を楽しむ行事となっています。

6月

7月

前期第2中間考査

部合宿

夏休みや春休みなどに、各部の合宿が実施されます。

8月

2年 修学旅行

2年生の最大の行事です。25年度はグアム、26～30年度は北海道、令和元年度東北地方で実施しました。令和2年度は、コロナ禍により何度も延期・変更をしましたが、実施できず。令和3年度は、北海道を予定しています。

知的世界への冒険

水泳大会

9月

前期末考査



残暑の中、全クラス全員参加で学年の壁を越えてクラス対抗形式で行われます。プールサイドに木霊する歓声の中、全員が50mプールを全力で泳ぎ、毎年高いレベルの新記録が生まれています。



10月

後期始業式

遠足 体育大会

生徒が主体的にクラスごとに行き先と内容を企画します。
飯ごう炊さんやハイキングなど自由に計画して楽しく一日を
過ごすので、クラスの親睦が深まります。

学年別クラス対抗で行われます。クラス優勝をめざしてひた
むきに懸命に競技に取り組む姿は、見る者の感動を誘います。
白熱した競技の合間に繰り広げられる2年生の仮装は修学旅
行と並び高校生活で強く心に残るイベントです。



生徒自治会
後期役員選挙

11月

卒業生による 職業ガイダンス 学部・学科ガイダンス



文化芸術祭

6月の六稜祭が学園祭的雰囲気
が強い行事であるのに対し、授業
での成果発表を中心に、北野の文
化的活動の発表の場となっています。

舞台部門では、音楽選択クラス
の合唱コンクールと2年音楽選択
生による「レ・ミゼラブル」歌劇
の発表、保健体育科授業のダンス
作品の発表が行われます。

展示部門では六稜会館にて、美
術科・書道科における授業での作
品、家庭科における創作エプロン
などが展示されます。

12月

後期中間考査

課題研究発表会

3年学年末考査

1月



断郊競走は、敗戦直後の1946年
を除き、1935年から現在まで毎年
続いている行事です。1941年入学
の手塚治虫さん（59期）は、1973
年の本校創立100周年記念講演で断
郊競走にふれ、「自分は身体が弱く
て何かにつけて消極的であったが、
たまたま断郊競走でベスト10に入っ
て賞状をもらって、粘りさえあれば
何かできるなあという気がした。こ
の経験がマンガ家として過酷なスケ
ジュールをこなしていく際に本当に
プラスになった」と述べられました。
手塚さんはそのときの様子を自伝的
マンガ『ゴッドファーザーの息子』
の中で、「賞状をもらって友人と手
を取り合って喜んでいる様子」とし
て描写しておられます。

2月

断郊競走



1, 2年学年末考査



卒業式
終業式

3月

自ら考える進路実現（北野高校生の選択）

北野高校のすべての授業を大切に、あらゆる教育活動に積極的に取り組み、自らの目標をめざして80%以上の生徒が国公立大学（その半数以上が東大・京大・阪大）に進学しています。

北野高校の進路指導は、単なる受験指導ではありません。どんな人生を送りたいのか、自分の夢を叶えるためには、どうすればよいのか、考える手助けをするのが本校のキャリア教育です。進路実現をサポートするために下記の内容を実施しています。

(1) 生徒の興味・関心の幅を広げ、将来、社会で活躍できる人材の育成をめざしています。自らの志を実現させ、社会に貢献できる分野が発見できるよう、卒業生をはじめとして第一線で活躍する研究者や社会人のお話を聞く機会を設けています。

(2) 自分で考える習慣を身につけ、志を高く持って目標に向かって努力できるよう支援します。

(3) 高大連携（京都大学・大阪大学の高校生対象企画、大学教授による出張講義「知的世界への冒険」など）を通じて、生徒の知的好奇心を刺激し、広い視野を持つように工夫しています。

(4) 進路資料など有効な情報を提供します。下記の資料は生徒に好評です。

- ・ 1年進路参考資料
- ・ 2年進路参考資料
- ・ 3年進学参考資料
- ・ 道標（社会人の先輩からのメッセージ）
- ・ 学習計画参考資料（大学入試に向けて）
- ・ 合格体験記

多くの先輩からアドバイスをもらう機会がありますが、自分の将来を決めるのは君たち自身です。周囲に流されたり、他を真似たりするのではなく、自分でよく考えて自分の目標を決め、進むべき道を選択してください。北野高校には、共に切磋琢磨する仲間がたくさんいます。

職業ガイダンス（1年生）

高校卒業後の進路選択は、社会の仕組みを知るとともに、様々な職業に関する理解を深めることから始まります。北野高校卒の先輩をはじめ社会人の方々から、職業人としての生き方を直接聞くことで、様々な刺激を受け、自分自身がどのように社会に貢献し得るか、イメージを育んでいきます。

学部・学科ガイダンス（2年生）

2年生では、京都大学、大阪大学から本校卒業の大学院生・学部生を招き、各学部・学科別のブース形式で研究内容についてお話を伺います。講師の方々のお話の他、質疑応答などを通じて、大学・学部の様子を知り、進路を選択する重要な契機とします。

大学との連携（各学年）

北野高校の近隣に位置し、本校からの進学者も多い京都大学・大阪大学などのご協力のもと、様々な連携プログラムが実施されてきました。

知的世界への冒険

生徒の知的好奇心を高めることを目的に、各分野で活躍中の講師をお招きし、学問・研究の一端を紹介していただく講演会です。近年の講演例は以下の通りです。（先生方の肩書きは講演当時）

- ・ 「物語の構造とキャラクターの言語」 大阪大学大学院文学研究科 金水敏教授
- ・ 「医学部ってどんなところ？感性と人間力をみがこう」 大阪市立大学大学院医学研究科 首藤太一教授
- ・ 「知的世界への冒険」 京都大学大学院理学研究科 梶本興重名誉教授
- ・ 「グローバル時代を生き抜くために、いまからすべきこと」 理化学研究所 宮西正憲研究員
- ・ 「ブラックホールなど、宇宙を研究する最先端のX線天文学」 大阪大学大学院理学研究科 常深博教授
- ・ 「光と電磁気学とマクスウェル」 京都大学副学長 北野正雄教授
- ・ 「はやぶさ2の探査報告」 JAXA 宇宙科学研究所 副所長 藤本正樹教授

国公立大学主催のプログラムへの参加

平成13年から大阪大学基礎セミナーが始まり、北野生が大学に通って研究や学問に直接触れる機会の先駆けとなりました。同セミナーは平成30年度を最後に終了しましたが、近年は大阪大学病院手術室見学などを実施しています。また、京都大学 ELCAS や大阪大学 SEEDS 等、研究者の早期発掘・育成プログラムに挑戦する生徒も増えています。

北野高校では、北野高校で作問し3年生で3回実施する校内模試（2年生冬に理科と地歴は先行実施）および、各学年で全国模試を活用し、学習の進捗状況を把握するよう計画しています。

※参考資料：大学等の合格数（延べ人数）

(1) 設置者別大学等合格者数（延べ人数）

	令和 3 年度			令和 2 年度			令和 1 年度		
	在校生	卒業生	合計	在校生	卒業生	合計	在校生	卒業生	合計
国立大学	154	100	254	169	81	250	156	66	222
公立大学	31	29	60	28	23	51	27	24	51
私立大学	244	330	574	252	279	531	204	220	424
その他	2	6	8	1	5	6	0	5	5

(2) 合格者の多い国公立大学の合格数

	令和 3 年度			令和 2 年度			令和 1 年度		
	在校生	卒業生	合計	在校生	卒業生	合計	在校生	卒業生	合計
東京大学	6	7	13	9	2	11	2	1	3
京都大学	60	35	95	72	28	100	52	20	72
大阪大学	34	21	55	36	17	53	43	15	58
神戸大学	20	12	32	23	13	36	33	9	42

心のケア（教育相談）

相談室

本校では、生徒・保護者の相談事への早期対応及び心のケアを図るため、臨床心理士のスクールカウンセラーを配置し、年間40回程度（週1回程度）相談室を開室しています。

生徒のみなさんや保護者の方が、何か気になること、どうすればいいかなと感じていること等があるときには、スクールカウンセラーのカウンセリングを受けることができますので、気軽に利用して下さい。



教育相談のお知らせ

スクールカウンセラーによる個別のカウンセリングの他に、生徒対象の講習会や保護者対象の講演会を実施したり、「教育相談のお知らせ」を年間数回発行し、スクールカウンセラーからの、皆さんの心が元気になるメッセージなどを載せています。

また、教職員対象の研修会を実施し、生徒への理解を深め相談体制の充実に努めています。

【スクールカウンセラー 卒業 橋手さくらからのメッセージ】

4月以降は卒業生の皆さんが、高校生活の振り返りや、今後の進路について悩んでいる方が多くいます。私も卒業生として、皆さんと同じような悩みを抱えているかもしれません。皆さんの悩みに寄り添い、サポートしたいと思います。

※私たちが希望するスクールカウンセラー

「スクールカウンセラーは、卒業生や在校生の悩みや不安に寄り添い、サポートします。また、卒業生としての経験を活かし、進路指導やキャリア教育にも貢献します。卒業生としての経験を活かし、進路指導やキャリア教育にも貢献します。卒業生としての経験を活かし、進路指導やキャリア教育にも貢献します。」

【教育相談のお知らせ】

本校では、卒業生や在校生の悩みや不安に寄り添い、サポートします。また、卒業生としての経験を活かし、進路指導やキャリア教育にも貢献します。卒業生としての経験を活かし、進路指導やキャリア教育にも貢献します。卒業生としての経験を活かし、進路指導やキャリア教育にも貢献します。

学校が生徒の状況や保護者のニーズを把握するために、入学時に「高校生活支援カード」を記入していただいています。

これを活用することにより、保護者・生徒の想いを受け止め、高校卒業後の社会的自立に向けて学校生活を送れるよう適切な指導・支援の充実につなげます。

高校生活支援カード				
1年	2年	3年	4年	5年
生徒記入欄（以下の質問は生徒本人が記入してください） 1. 将来の目標について（※目標を設定する場合は記入してください） 2. 人との関わりについて 3. 人との関わりについて 4. 人との関わりについて 5. 人との関わりについて 6. 人との関わりについて 7. 人との関わりについて 8. 人との関わりについて 9. 人との関わりについて 10. 人との関わりについて				
保護者記入欄（以下の質問は保護者が記入してください） 1. 子供の将来について（※目標を設定する場合は記入してください） 2. 子供の将来について（※目標を設定する場合は記入してください） 3. 子供の将来について（※目標を設定する場合は記入してください） 4. 子供の将来について（※目標を設定する場合は記入してください） 5. 子供の将来について（※目標を設定する場合は記入してください） 6. 子供の将来について（※目標を設定する場合は記入してください） 7. 子供の将来について（※目標を設定する場合は記入してください） 8. 子供の将来について（※目標を設定する場合は記入してください） 9. 子供の将来について（※目標を設定する場合は記入してください） 10. 子供の将来について（※目標を設定する場合は記入してください）				

国 際 交 流

本校は1991年からアメリカ北西部ワシントン州のシアトル近郊コピントン市にあるケントウッド高校との交流を続けてきております。ケントウッド高校と本校との出会いは1991年、本校体育教諭（当時）が3週間、ケントウッド高校で柔道の指導を行ったことから始まりました。その後、当時のジョージ・ウィルソン校長から講道館柔道の創始者、嘉納治五郎の書「自他共栄」が本校に寄贈され（柔道場に掲げられています）、更に柔道部OBの招待でウィルソン校長が来校された際に、両校の「交流」が合意されました。以後、相互に学校を訪問する形で交流が進められています。



毎年3月末の約8日間、2年生5名と付添い教員1名が同校を訪問、平日はケントウッド生とともに授業を受け、学校生活を体験し、「日本語」の授業では日本文化のプレゼンを行うなど、日本語学習のお手伝いもしています。また、夕刻や週末には、それぞれのホストファミリーの一員として異文化での家庭生活を味わうほか、市長への公式訪問や他の3つの州立高校との交流も実施、観光旅行では味わえない貴重な体験をしています。（令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）



一方、7月には、ケントウッド生が2週間日本を訪問、本校生の家庭にホームステイしながら、「北野高校生」としての1週間で体験しています（もう1週間は阿武野高校で過ごします）。



（令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）

また、本校は平成31年（令和元年）から文部科学省指定のWWL事業の拠点校になり、その事業の一環としての海外研修も実施しています。目的は様々なバックグラウンドを持つ海外の人と交流し、WWLコース課題研究の知見を得ることです。1年生向けに3月に行われるオーストラリア研修と台湾研修（令和元年度及び令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）、2年生向けに7月に行われるハワイ研修と東南アジア研修（令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症のため中止）がWWLの海外研修です。



ますます国際化しつつある世界の中で、たくさんの北野高校の生徒が国際交流の機会を持ち、広い視野と寛容な心を持ってほしいと国際交流活動を行っております。

北 野 生 の 1 日

阪急十三駅からは、バス通りに沿って約700m、
JR 塚本駅からなら、約1100mで正門到着。

早弁をする生徒多数！北野生は朝が早
く、多忙なため、こまめに栄養補給！

睡眠	起床	通学	1 限 65 分	休憩 10 分	2 限 65 分	休憩 15 分	3 限 65 分	昼休み 50 分
----	----	----	-------------	------------	-------------	------------	-------------	-------------

0:00 6:00 7:00 8:10～9:15 9:25～10:30 10:45～11:50

朝のHRはありません。8:10から
いきなり授業が始まります。
8:05までに登校しましょう！12月
～3月は冬時間で、1限開始は8:30
からとなります。

少し長めの昼休み。昼食の他、教室で読書や勉強な
ど、自由に過ごします。部活動の準備などグラウンド
や体育館で体を動かすのも、図書館で過ごすのも
OK。



帰りのHR もありません。担任の先生と顔を合わせ
ない日も…。クラスの自治は、総務を中心に生徒
たちにまかされています。

4 限 65 分	休憩 10 分	5 限 65 分	清 掃	部活動	下校	自宅
-------------	------------	-------------	--------	-----	----	----

12:40～13:45 13:55～15:00 18:00 19:00 0:00

放課後！
約90%の生徒が、部活動に打ち込みます！
好きなことだから、楽しい時間。

一日の疲れをとる重要な時間。夕食・入浴の
あとは、本日の学習の復習と明日の予習。
翌日に向けての準備を怠りません。

入学初年度に係る諸経費（令和2年度入学生）

学校諸費	227,600
内訳	
入学料	5,650
授業料	118,800
日本スポーツ振興センター共催掛け金	1,930
PTA会費・生徒会費	6,500
学年費	22,100
修学旅行積立金	90,000
教科書・副読本	約36,000
制服 男子（冬上詰め襟・夏冬ズボン）	約37,000～
女子（冬上ブレザー・夏冬スカート・ズボン）	約56,000～
体操服・体育館シューズ・上履き	約20,000

部・同好会活動記録

生徒自治会が発行する「年誌」「北野高校ホームページ」から、記事の一部を抜粋しました。部活動は大変活発で、全生徒の90%以上が加入しています。

☆☆文化部☆☆

文芸部■3年生6人、2年生6人、1年生1人で活動しています。週一回の定期活動日を中心に、部員全員仲良く和やかな雰囲気の中活動しています。お互いに作品の相談をしたり、部誌の感想を交換したり、充実した時間を過ごしています。

ESS部■3年生7人、ALT、SETの先生方と一緒に楽しく活動を行っています。楽しみながら英語に慣れるということを目指しており、普段の活動は洋画や洋楽の鑑賞、ゲーム、スピーチの練習など様々です。また、台湾からの修学旅行生やアメリカの姉妹校からの留学生との交流パーティーの運営も行っています。

物理研究部■物理研究部は現在3年生7人、2年生6人、1年生2人の総勢15人で活動しています。ゲーム制作(Unity)、情報の国家試験に向けての勉強、情報理論の勉強(高校範囲で扱わない)、プログラミングコンテストへの参加など、物理及び情報に関わることを各々が研究・勉強・制作しています。

化学研究部■化学研究部は3年生4人、2年生6人、1年生2人で活動を行っています。活動内容は年度ごとに異なりますが、昨年は個人各々の研究を主に行っていました。毎年6月にある六稜祭ではさまざまな実演実験を行います。

生物研究部■部員は、2年生8人、1年生1人です。長期休暇を利用して、調査旅行や野鳥観察を行っています。

地学研究部■3年生4人、2年生23人、1年生10人、屋上の天文台での天体観測を主な活動としています。部員のほぼ全員が兼部での参加となっています。深い知識がなくとも楽しむことができる部活になっています。

美術部■現在、3年生3人、2年生6人、1年生1人の計10人で日々活動しています。部長に希望日を伝え、それを基に予定を決めて活動するので、各自が自分のペースでじっくりと制作に取り組むことができます。

コーラス部■部員8人(うち女子8人、男子0人)、「心ふるわすハーモニー」をモットーに、日々楽しく歌っています。

オーケストラ部■現在総勢35人で活動しています。全国でも珍しい、部活動としての高校生オーケストラです。前身である音楽部が1932年に創部されて以来80年以上の永い歴史を持ち、北野高校を卒業しても、オーケストラ部としての結束は強いです。ほとんどが初心者からのスタートですが、より良い演奏のために部員一同練習を重ねています。

吹奏楽部■北野高校吹奏楽部、通称『北野プラス』です。2019年5月現在、1年生33名、2年生32名、3年生27名の計92名で活動しています。コンクールや定期演奏会をはじめとする、数多くの演奏機会に恵まれています。お客様に楽しんでいただくこと、また演奏者自身も楽しむことを目標として、日々練習を重ねています。

写真部■3年生2人、2年生7人、1年生2人、総勢11人で活動しています。

演劇部■3年生3人、2年生2人、1年生1人で活動しています。普段はセミナーハウス三階の和室で、発声・滑舌・筋トレなどを中心に基礎練習を行っています。2018年度は、6月に六稜祭公演、1月に文芸祭前公演を行いました。また文芸祭での舞台照明の手伝いをさせていただきました。

放送部■現在、女子4人で活動しています。主な活動は昼の放送、行事の司会、音読練習などですが様々な機材が揃っているのでやりたいことには何でも取り組みます。

囲碁将棋部■部員は3年6人、2年3人、1年1人です。活動日には外部から講師の方がいらっしゃって、指導を受けています。また、他校との交流も行っています。囲碁や将棋が好きな方はもちろん、囲碁・将棋を知らない人も大歓迎です(部員のほとんどは高校まで囲碁をしたことがありませんでした。)

ダンス部■北野高校ダンス部『RDC』です!現在、3年生11人、2年生14人、1年生19人の合計44人で「感動を、あなたに」をモットーに、仲良く楽しく活動しています。日々練習に励み、イベントや大会にも多く参加させていただいています。

ジャズ・フォークソング部■1年生1人、2年生10人、3年生3人の計14人で活動しています。部員同士、先輩後輩の仲も良く、また初心者の部員も多く、毎日楽しく活動しています。新入生歓迎コンサート、六稜祭、文化芸術祭などの学校行事のほか、校外での音楽会やコンテストにも出場しています。

クイズ研究部■3年生14人、2年生12人、1年生9人で活動しています。主な活動は、「早押しクイズ」です。クイズにはあらゆる知識が役に立つので、何気ないことに対する好奇心が重要です。環境も整っているため、好奇心と向上心さえあれば誰でも強くなれます。他校との交流も多くあります。

茶道部■現在部員12名で、毎週水曜日に活動しています。月に一度外部から茶道の先生に来ていただいている、作法の基礎から細かく教えていただいています。

競技かるた■昨年度、部に昇格した競技かるた部は、3年生2人、2年生3人、1年生3人の8人で活動しています。競技大会にも出場し入賞者も出るなど頑張っています。

映画研究部・書道部■ 休部中です。

☆☆運動部☆☆

陸上競技部■今年も快調に走り続ける陸上部は、3年31名、2年25名、1年29名の総勢85名で本気で陸上を楽しんでいます。昨日より今日、今日より明日と自分を日々成長させ、自己ベストを大切にしていますが、その中で近畿大会や全国大会に出場している選手もいます。

水泳部■3年9、2年12名、1年生12名の33名で活動中です。勉強すればするほど伸びる学力。泳げば泳ぐほど速くなるタイム。中央、近畿、インターハイを目指し、日々練習に励んでいます！ 熱い部員大歓迎！水泳で青春を満喫しよう♪

器械体操部■3年4名、2年3名、1年生4名の11名で活動しています。部員が増え先輩後輩の仲も良く、OB・OGさんもたくさん練習を見に来てくださいます。また、他校との合同練習などもよく行っています。男女計8器具もきちんと揃っています。

柔道部■3年6名、2年1名、1年生2名の9名で活動しています。日々練習に励んでいます。人数は少ないものの他校との合同練習をし、活発に活動しています。また、京大、阪大、神大の練習にも参加させていただき、自分の技を磨いています。

剣道部■3年生6名、2年生5名、1年生2名の13名で活動している北野高校剣道部は「文武両道」をモットーに、近畿大会、インターハイ出場を目指し、日々稽古に励んでいます。剣道は、初心者から始めても全く問題ありません。顧問、そしてOB・OGの方々の熱心なご指導により、精神、身体も鍛えられ、経験者と同等に強くなることができます。3年連続で大阪ベスト8となり、近畿大会に出場しています。

合気道部■3年13名、2年10名、1年6名の計29名で活動しています。私達は天之武産塾合気道々場に所属しています。今年も指導員の先生に、週に1回体術を中心にご指導いただいています。他校の合気道部との交流もあり合同稽古をしています。

硬式野球部■3年9名、2年14名、1年16名、マネージャー3名、総勢42名の硬式野球部は、甲子園を目指して頑張っています。ひとりひとりが勝つためにどうすればいいかを考え、チームであることを最大限に活かし、日々努力を重ねています。

サッカー部■3年生15名、2年生20名、1年生4名、マネージャー1名の40名で活動しています。大阪ベスト32を目指して、部員全員が意識高く日々の練習に取り組んでいます。サッカーができるということに対する感謝の気持ちを忘れずにプレーしていきますので、みなさん、応援よろしくをお願いします。

ラグビー部■3年7人、2年生9人、1年生2人、マネージャー2名の20名で活動しています。昨年度から、北野単独で大会に出場できるようになり、活気ある活動を行っています。伝統あるラグビー部で一緒にラグビーを楽しみましょう！

男子バレーボール部■3年9名、2年9人、1年1名、マネージャー2名の21名で活動しています。日々、僕らを支えてくださっている先生方やOBの方々への感謝の気持ちを忘れず、それに應えるために、自分たちで考えて実践する練習を行っています。近畿大会出場を目標に頑張っていきます。

女子バレーボール部■3年5名、2年5名、1年4名の14名で活動しています。私たちは、高い目標に向かって日々練習に励んでいます！少ない時間を大切にして、協力してくださっているの方々への感謝を忘れず、全力でバレーを楽しみたいと思います！

男子バスケットボール部■3年5名、2年9名、1年12名、マネージャー2名の28名で活動しています。体育科の先生が熱心に指導してくださっています。全員仲が良く、練習に前向きに取り組んでいます。中央大会出場を目指し頑張っていますので応援よろしくをお願いします！

女子バスケットボール部■3年5名、2年3名、1年4名の計12名で活動しています。月曜日と金曜日は体育館が使えないので、月曜日はオフで、金曜日は筋トレ等を行っています。それ以外の日には体育館で練習できます。夏には合宿もあります！ぜひ一緒に汗を流して青春しましょう！

男子ハンドボール部■3年6名、2年11名、1年7名、マネージャー1名の25名で活動しています。OBさんに練習を見てもらいながら日々、キャプテンを中心に一生懸命練習に励んでいます。大阪ベスト4・近畿大会出場を目標として頑張っています。

女子ハンドボール部■3年10名、2年8名、1年10名の28名で活動しています。OBさんの指導のもと、中央大会を目指し、夏の暑さにも負けず、冬の寒さにも負けず、元気いっぱい声を出して練習に励んでいます！女ハンに入れば青春を満喫すること間違いなし！！

男子テニス部■3年16名、2年20名、1年15名の51名でほぼ毎日活動しています。OBのみなさんからのボールやガット張り機はいつも大切にに使わせていただいています。大阪総体団体の部ベスト8以上、近畿公立団体ベスト8以上という目標に向かって、高い意識で日々練習に取り組んでいます。

女子テニス部■3年7名、2年6名、1年6名の19名で毎日楽しく、元気いっぱい活動しています。厳しいときは厳しく！楽しむときは楽しむ！をモットーに、一人一人が目標を持って練習に励んでいます。今年もOB・OGさんから練習球やテニ

ス用品をいただきました。

卓球部■3年4名、2年11名、1年6名の22名で活動しています。近畿大会出場を目指して部員全員が真剣に練習に励んでいます。OBの方々が来て下さるので、レベルの高い練習をする事も出来ます。

山岳部■3年10名、2年12名、1年4名の26名で活動しています。普段は、ランニングや天気図を描く練習などをし、月に1回、山を登っています。夏山合宿では白馬岳方面を予定しています。山岳部は120年以上の歴史があり、ここ数年は大阪春季大会を連覇してインターハイに出場しています。

バドミントン部■3年29名、2年22名、1年16名の67名で活動しています。支えてくださっている先生と保護者の方々の感謝を忘れず、常に工夫しながらコートの外でもバドミントンにつながるような練習をしています。目標である団体戦男子ベスト8女子ベスト16を達成するため、一生懸命励んでいます。

☆☆同好会☆☆

数学研究同好会■3年生4人、2年生3人、1年生1人の8人で活動しています。受験勉強のためだけに数学に取り組むという人もいるでしょうが、数学は奥が深く、とてもおもしろいです。

英語ディベート同好会■令和元年度に発足した新しいクラブです。

生徒自治会

生徒自治会とは、全校生徒から立候補者を募り、半年に一度選挙で選ばれる生徒代表の組織のことです。学校行事の企画・運営に携わり、また、よりよい学校生活をめざして、生徒からの意見を取りまとめ、学校に問題提起をしています。

生徒自治会が中心となって毎年発行する「年誌」からは、自治会の様子や北野生の生活がうかがえます。

「北野大辞典」より

毎回おなじみ北野大辞典！

この大辞典は、北野高校に一年在籍した自治会役員がアンケート、実体験をもとにつくりました。皆様の高校生活に役立てば、嬉しいです。

あい（愛・い）

先生たちが生徒に与えるもの（主に長期休暇などに多大な愛を与えられる）。

仮装

体育大会の目玉のひとつ。映画やドラマをモチーフに、鮮やかにコスプレした二年生が舞う。
どのクラスも本気のため優勝作品のクオリティーは高い。

軍手

持久走の時間、軍手を付けて走ることが出来る。軍手をした高校生が河川敷を延々と走る姿はなかなかシユール。

授業

六五分という長い闘いをするフィード。ちなみに闘う相手は先生でなく、自分の眠気と分らない問題である。

木の葉バッチ

断郊などの体育系の活動で好成績を収めるともらえる。3年間の皆勤賞のごほうびでもある。運動が苦手な人はこれを狙おう。

廊下

走ってはいけない。というのはもちろん建前。授業に遅れそうときは先生も走る。裸足で廊下を走る速さを競う輩もいる。

LHR

ロング・ホームルームの略。生徒が自分たちで企画し実行する時間。ただし、三時間目にあるため、楽しく遊んだ後にまた授業である。

充実した教育環境

「北野らしさ」を思わせる斬新な設計のもと、「平成の名学校建築」として21世紀にふさわしい新校舎が平成14年に竣工しました。



- ◆阪急十三駅を下車、商店街を抜け「淀川通り」に沿って600mほど西に向かうと、右手に市民の憩いの場「十三公園」があり、左手の本校「読書の森」とあわせて、付近のにぎわいを忘れさせるたたずまいを見せています。

「読書の森」から20mあまり、直線で形作られた本校正門とそれとは対照的に独特な球形の建造物「六稜会館（同窓会館）」（p22参照）が訪れた人を迎えます。正門をくぐると、正面には「本館管理棟」北側（2階物理教室・3階音楽室）が、その左手には大きなガラス張りの窓をもつ「図書館」（地下1階、地上2階）がずっしりと構えています。

- ◆「教室棟」に向かうケヤキ並木のアプローチの左には曲面の壁がモダンな「多目的ホール」（写真右）があります。このホールは最大約700名が収容でき、入学式・卒業式などの式典のほか、六稜祭の催し、学年集会や音楽系の部活動などで活用されています。一方、ケヤキ並木の右側には府立高校では数少



ない50mプールがあり、毎年9月の水泳大会ではプールサイドに全校生徒が集結、クラスメートの熱い応援がこたえます。



図書館

校舎改築に伴い、2000（平成12）年春に新築オープンしました。

図書館の前面は「読書の森」とよばれる緑豊かな庭園があり、四季折々、閲覧室や自習室で読書・学習に専念する生徒の目を休ませてくれます。図書館には現在、開架書庫に約3万冊、閉架書庫に約5万冊、合計約8万冊近くの図書が収蔵・保管され、蔵書数は公立高校の図書館としては全国でも群を抜いています。蔵書の種類も明治時代の貴重な教育資料から最近の話題作まで多岐にわたり、卒業生からの寄贈図書が多いことも特色の一つです。

本校図書館の蔵書の約50％はパソコンで検索することが可能です。また、図書の貸出し・返却業務については、バーコードの貼付された図書カードを用いて貸出端末で処理されるので、手続きはいたって簡便です。また、図書館には生徒が自由に利用できるパソコンも設置されており、生徒の学習活動に役立っています。図書館サポーターという生徒の自主活動もあり、自分たちで作っていく居心地のよい場所になっています。



- ◆ケヤキ並木が終わる所が東西に長くのびる「教室棟」中央付近です。東側2階には地歴公民科・理科の特別教室等が、3階には3年生の教室があり、「本館管理棟」へとつながっています。

特に東側3階の3年生教室の廊下はそのままテラスになり、そこから見える校内や十三公園の木々の色は季節ごとに変化し、心落ち着くひとときを与えてくれます。

「教室棟」西側は2階に2年生の教室が、3階に1年生の教室があり、西側の端の壁には戦時中の空襲の弾痕が残る旧校舎の壁がメモリアルウォール（p22参照）として保存されています。

また、「教室棟」中央部の屋上にはドーム型の六稜天文台が設置されていて、天体観測が可能です。



- ◆「教室棟」の下をくぐると、校地南側にあるグラウンドに出ます。都心の高校であるにもかかわらず300mトラックがとれる広大なグラウンドは、体育の授業のほか、硬式野球部、ラグビー部、サッカー部、陸上競技部等の練習場所になっています。グラウンドの西側にはハンドボールコート2面、テニスコート3面があります。テニスコート横には3階建ての建物「セミナーハウス」があり、クラブの室内活動の練習スペースやミーティングルーム等として利用しています。

- ◆体育館は、2階がアリーナ（バスケットコート2面）、1階が剣道場と柔道場、食堂です。食堂には豊富なメニューが揃っており、昼休みの生徒たちの憩いの場として賑わいをみせています。

六稜天文台



本校創立130周年記念事業の一つとして、卒業生で数多くの反射望遠鏡製作に携わってこられた石川勇氏より寄付されました。直径4mのドームに納める天体望遠鏡は、口径510mm。高校に備えられるものとしては、日本屈指の高精度反射望遠鏡です。

広大なグラウンドより教室棟を望む



六稜会館（同窓会館）

3階には六稜ホールとロビー、2階には会議室と事務局、応接スペース、1階には六稜サロン、地下1階には六稜ギャラリーと研究室、収蔵庫があります。創立130周年を記念して卒業生などからの募金によって建設されたもので、生徒や教職員・卒業生の文化的活動スペースとして広く活用されています。3階六稜ホールでは各種講演会や生徒の発表会が行われます。また地階・六稜ギャラリーには、本校所蔵の歴史的資料や美術品などが展示されています（下参照）。



今もなお北野の歴史を残すもの

◇メモリアルウォール

第2次世界大戦末期の1945年、大阪大空襲の際には本校も爆撃を受け、剣道場や食堂が全焼し、9名の生徒が命を奪われるという大きな惨害を受けました。旧校舎西端の壁面には当時のアメリカ軍戦闘機による機銃掃射の弾痕跡が20数カ所ありました。

校舎改築にあたり、2002年にその弾痕跡が残る旧校舎壁面が、「平和を祈念するメモリアルウォール」として新校舎の西面に保存され、現在に至っています。

また、メモリアルウォールの前には、後世にその惨禍を語り伝えるために「殉難の碑」が建立されて、平和への願いを現在に伝えています。なお、「殉難の碑」の裏面には、この空襲で亡くなった2人の北野生の遺族の文章が刻まれています。



◇北中のマーク

旧校舎の屋上には、旧制「北野中学校」の名称をシンボルにしたマークがあり、当時の生徒たちを見守っていました。校舎改築にともない正門右側に移設され、現在も登校する生徒たちを迎えています。

ちなみに、新校舎にもこのマークをあしらったデザインが屋上中央部につくられています。



◇六稜ギャラリー

六稜会館の地階にあり、明治以来の学校の諸資料（教科書、ノート、写真、会議録、エジソンの蓄音機、その他）や卒業生である手塚治虫氏(59期)の漫画、吉原治良氏(36期)の油絵、森繁久彌氏(45期)の書などが展示されています。

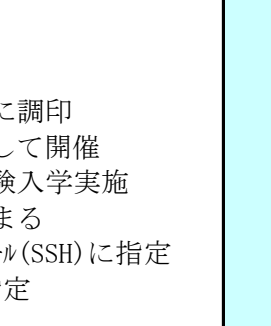
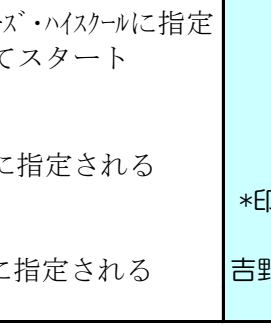


◇笹部桜

水上勉の小説「櫻守」のモデルである笹部新太郎氏（17期）は、東京帝大(現在の東京大学)を卒業後、桜の研究に一生を捧げました。氏は古来日本人が愛してきた山桜に強くひかれ、桜の優良品種保存と山桜の改良研究に取り組んだほか、大阪造幣局や西宮・夙川などの各地の桜の管理指導と植樹に力を尽くしました。中でも、八重咲きの花をいっぱいつける名桜「笹部桜」の開発は有名で、本校正門横にもこの「笹部桜」が毎年4月に美しい花を咲かせています。



沿 革

	年代	主なできごと	卒業生	(期)
明治 6	1873	東区難波御堂（南御堂）内に 欧学校 開校		
	1873	集成学校と改称		
	1874	東進級学校・西進級学校設置		
	1877	集成・進級両校合併、大阪府第一番中学校 中之島常安町に移転		
	1883	堂島の旧中津藩邸に移転（府立大阪中学校）		
明治19	1886	大阪尋常中学校と改称		
	1889	堂島浜通の新校舎落成式、六稜の校章できる		
明治35	1899	大阪府第一中学校と改称		
	1902	大阪府立北野中学校と改称 北野芝田町（現在の中津） の新校舎に移転		
大正13	1924	六稜同窓会成立		八木秀次* (16)
	1924	第1回体育大会		滝川幸辰 (22)
	1926	第1回校内水泳大会		山根徳太郎 (23)
昭和 6	1931	東淀川区十三南之町に移転 （のちに地名も「新北野」となる）		佐伯祐三 (30)
	1935	第1回断郊競走		梶井基次郎 (32)
昭和20	1945	大阪大空襲のため校舎の一部焼失		吉原治良 (36)
	1948	大阪府立北野高等学校として発足		川島武宜・安井琢磨* (39)
	1949	生徒自治会発足		上野淳一・黒田了一 (41)
昭和31	1956	第2回選抜高等学校野球大会で優勝		鴻池藤一・森本薫 (43)
	1956	入学式を原則として 4月1日とする		野間宏・森繁久彌* (45)
	1968	「80周年」記念図書館完成		早石修* (50)
昭和48	1973	創立100周年記念式挙行		藤田田 (57)
	1977	第1回校内球技大会		森毅 (58)
	1978	現体育館落成		手塚治虫 (59)
昭和58	1983	本館西側の弾痕（現メモリアルウォール） 保存工事終了		脇田修 (62)
平成10	1998	校舎改築工事始まる		森南海子・脇田晴子* (64)
	1998	セントウッド高校と姉妹校提携に調印		山本雅弘 (71)
	1999	第52回文化祭が第1回六稜祭として開催		中西輝政・道浦母都子 (78)
	2000	現図書館が開館 / 中学生体験入学実施		阿辻哲次 (82)
平成14	2001	京都大学・大阪大学との連携始まる		竹山聖 (85)
	2002	文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定		山田五郎 (89)
	2002	府教育委員会からエル・ハイスクールに指定		小森健太郎 (96)
	2003	六稜会館(同窓会館)完成		福井栄一 (97)
	2009	府教育委員会からグローバル・リーダーズ・ハイスクールに指定		有働由美子 (99)
平成23	2011	グローバル・リーダーズ・ハイスクールとしてスタート		橋下徹・藤井彩子 (100)
	2013	文理学科新設、普通科との併置		高木和弘 (103)
平成25	2014	創立140周年をむかえる		笠原健治 (106)
	2016	S G H (スーパー・グローバル・ハイスクール) に指定される		
	2016	文理学科のみの募集となる		
平成30	2018			
令和元	2019	WWL (ワールド・ワイド・ラーニング) に指定される		
令和3年	2021	新プール完成		

*印は文化勲章受章者 ↑ ↓

吉野彰* (78) ノーベル化学賞

先輩からのメッセージ

■【北野は本当にすごい学校】*****

高校での一年は私を大きく成長させてくれました。まず出会い。北野の人はさすがというか、いろんなことを（マニアックに）知っている人が多いです。友達や先輩みんな、行事の時はやたらと盛り上がり団結するし、夢とか自分の考えをしっかりと持っています。いろんな人と交流して、自分を高めることができると思います。

北野はクラブ活動が盛んで、運動系、芸術系ともがんばっています。うちの部では、自主トレを昼休みとか家に帰ってからもしている人もいます。クラブに入るかどうかは自由ですが、決してマイナスになることはありません。私はクラブに入ったことで、あきらめないで頑張るということを学びました。

勉強についてですが、高校の授業は中学と違い、わからなくてもどんどん進む、内容も濃いいし、はっきりいって大変です。だから私は、どんなにクラブがしんどくても、古文と英語の予習と数学の演習だけはやりました。古文や英語はしっかり単語の意味を調べる、さらに文章であれば、ノートにあらかじめ写しておくだけで授業の理解度が違います。また、数学では自分でしっかり考えてください。わからなくてもよいのです。よく言いますが、勉強は積み重ねで、習慣づけることが大事です。ちょっとずつでもいいので1日1日その日やらなければならないことをこなしていってください。そして、どの授業も大切にしてください。寝たり、携帯をいじくったり、塾の宿題をしていては意味がありません。早く自分のやり方を見つけて、効率よく勉強してください。

最後に皆さんに言いたいこと、それは北野という学校は本当にスゴイ学校です。チャレンジ精神と好奇心を忘れず、自分を大きく成長させて、楽しい高校生活を送ってください。

■【求めること&諦めないこと】*****

北野高校は厳しい学校です。それは、中学校までのように先生が何でもしてくれるわけではないからです。これは、悪く言えば放ったらかしなんです。つまりは私たちの自主性、積極性を尊重してくれているということです。ですから、誰かが何かをしてくれるのを待っているような他力本願な人には何の楽しみもないつまらない高校生活になってしまいます。せっかく自分たちに任せてくれるのですから、最低限のルールを守って、自分たちで楽しいものにしていきましょう。

みなさんが心配していることは、やはり勉強についていけるかだと思いますが、そのために必要なことは「求める」ということです。みなさんが求めていけば、先生方は十分以上に応えて下さいます。そこで、みなさんにできる一番簡単な「求める」は質問だと思います。特に数学は、質問なしで乗り切れるほど甘いものではありません（脅しになってしまいますが）。たくさん求めて、北野の先生をどんどん利用していき下さい。北野の先生は利用しないとソンですよ。

もう一つ忘れてはいけないのが、体育です。なわとび、水泳、長距離走についてはいろいろな噂が飛び交っていますが、これらを乗り切るのに必要なことは、「あきらめない」ということです。北野の体育は自分で限界を決めてはいけないということを教えてくれます。人間は自分が思う以上にできるようになっています。自信を持って取り組んで下さい。

■【予習の積み重ね】*****

1・2年生の間は、授業の予習にかなりの時間を費やしていました。テスト前を除けば、私の家での勉強は、そのほとんどが授業の予習だったように思います。それでも日々の積み重ねを通じて、かなりの力をつけることができたのは確かです。手を抜いて適当に予習を済ませていると、後になって後悔する日がきつと来ると思います。私は英語で予習の手を抜いたことをひどく後悔し、予習の段階でもっと日本語訳を書き慣れておくべきだったと、3年生の後半になってつくづく感じまし

た。だから、予習だからと甘く見ずに、日頃から真剣に取り組んでおく姿勢はすごく大切だと思います。

■【授業を無駄にしないこと】*****

3年間を通して常に意識していたことは授業を無駄にしないこと。先生は必ず自分の知らないことを知っています。その知らないことを少しでも多く吸収しようと心がけ、知っていることも確認しながら授業を聞いていました。

私は部活動で結果を残したかったので、部活動に全力で取り組んで、家での学習が疎かになることもありました。しかし、基本的に予習はして、テスト前はテストで平均点を越えられるように集中して勉強していました。部活動を頑張りたいなら全力で部活動に取り組むべきです。そこで集中できる力があるのなら勉強も集中できると思います。

■【誰でも不安を持っている】*****

私は、この北野高校に入学したとき、もちろん勉強も不安でしたが、体育が一番不安でした。体育のために、この学校を受験しようかどうか迷ったほどです。しかし、私と同じく体育が苦手だという人も、心配することはありません。

体育の先生に次のように言っていただきました。体育が苦手ではない人も不安だと思っているかも知れない断郊競走の練習の時です。「運動に向いた筋肉を持っている人も、そうではない人もいます。誰かと競うのではなく、その人はその人なりに頑張ればいい」と。また、本番でも「あと少しや。頑張れ!」と、最後まで励ましていただきました。順位は後から数えて表彰台に上がってしまう私ですが、「最後まで走りきったよ!」と両親に報告することが出来ました。

さて、次にたぶん皆さんが不安に思っている勉強のことです。テストの点、びっくりしますよね。でも、入学した人はみんな同じように驚くでしょう。私は、古文とリーダー・グラマーの予習と、数学の演習だけは、なるべくやっていくようにしていました。出来なかった日は、やはり授業についていくのが大変でした。私は中学の時は個人的に先生に質問に行くなどありえないことでしたが、今では数学はよく先生に質問に行きます。黒板に書いてある解答を授業中に写すのは大変ですし、出来ていない問題を当てられないかとハラハラしますよね。先生は質問に行くと快く教えて下さいます。いつ見ても質問をしにきた人に答えていて、いつ昼食をとったりトイレに行ったりしているのだと思う先生もおられます。もちろん、数学以外でも質問に行くことがあります。どの教科でも、北野の先生方は、きっと丁寧に教えて下さると思います。

最後に、私が北野に入ってショックを受けたことは、勉強以外にも何か究めたものを持っているということです。クラブ、水泳大会、断郊競走、芸術、趣味など、いろいろな点で優秀な人が沢山います。私はそのような人達を見て、自分がとても無意味な人間に思えて厭になったこともありました。しかし、私達はまだ十代の高校生です。何か誰にも負けないものを見つけるには、まだまだ時間があるのではないのでしょうか。そして、私はそのようなものを見つけたいと思うのです。

■【勉強ばかりでは面白くない】*****

いわゆる「受験勉強」は焦って早くから始める必要はないです。クラブをしているならば、引退してからでも決して遅くはありません。よく基礎、基礎と言われますが、まさにその通りで、受験勉強にしたって日頃の勉強の上に成り立っていることを忘れないで下さい。また、クラブ活動というのは高校生活の中でもとても大事なものだと思います。よく、勉強を優先させるという理由でクラブに入らなかったり、あるいはやめてしまったりする人がいますが、これは非常にもったいない。勉強ばかりでは余りに面白くないじゃないですか。人間的にもつまらなくなってしまうです。

■【クラブも勉強も要は慣れ】*****

北野生の一日はなかなかハードです。65分間の授業を5つ受けて、部活、帰宅。そこから勉強

を始めるわけですが、この時猛烈な睡魔が襲ってきます。かと言って勉強しなければ、テスト前にえらいことになるので、とりあえず机に向かうが、気がつけば爆睡、というパターンが最初の頃はよくありました。これを解消するには、まず、自分の理想の生活パターンを計画して、それを目標として体を慣らしていくことです。初めからできることだけをやるのではなく、自分の限界を広げていくようにしたいと思います。そうやって、クラブもし、勉強もするという生活が作り上げられていきます。要は、慣れです。

■【何事にも本気で】*****

「クラブに入って勉強と部活の両立ができるのだろうか？」と不安に思った人もいます。しかし、在校生のほとんどが何らかの部活に所属しているのですから、心配する必要はありません。自分の努力次第で両立は十分可能です。そのかわり勉強と部活を両立したい人は、まったり過ごすことを諦めなくてはなりません。

まず、両立にあたって一番大切なことは、メリハリのある生活を送ることです。私は居間で勉強していたので、自然とテレビを見ながらダラダラとしていることが多かったのですが、それではどちら中途半端で身につきませんでした。2時間テレビを見ながら勉強するのと、テレビを1時間見た後、気持ちを入れ替えて1時間勉強するのでは、明らかに後者の方が質も効率も良いはずですよ。

『やるときはやる』というけじめこそが北野の生活を有意義に送る秘訣だと思います。

北野高校はしんどいだけではありません。お互いに高め合える同級生も、尊敬できる先輩も沢山いるので、とても充実した高校生活を送れます。それに、しんどい分得るものは大きいので、この忙しさも将来、自分の糧になるはずですよ。また、そのうち分かりますが、みんな何事にも本気なので、不完全燃焼ということがありません。

この学校に入ってしまった以上、のんびりするのとは後でもできると割り切って、目の前のことに全力でぶつかれ、というのが私の意見です。

■【高校生活を楽しんで】*****

私は高三の六月まで運動部に所属していました。一、二年時は、定期テスト前を重点的に勉強していましたが、定期テストをしっかりと頑張っていたことで、基礎が固まったと思います。だから、一、二年生は、定期テストだけはしっかり勉強するぞ！という姿勢でいけば、あとがとても楽になります

その合間には、クラブや行事など、高校生活を楽しんでください！

■【部活も勉強も中途半端はダメ】*****

北野生は運動部に所属している人が多く、またそのほとんどの部は練習が厳しいと思いますが、ここでアドバイスしたいことがあります。1・2年のうちは運動をしっかりとがんばってほしいということです。部活動をいいかげんにしかできないような人間は勉強もいいかげんという場合が決して少なくはないと思います。3年になって満足のいく結果を残して引退できれば気持ちの切り換えが迅速にでき、受験にむけて早目のスタートをきれると思います。ここで注意したいのは、1・2年は勉強しなくてもよいというものではないということです。クラブで疲れるのはわかるけど授業中だけはなんとか起きて勉強しましょう。

■【すべてのことにマジ】*****

北野高校は個性あふれる学校です。長い歴史によって築き上げられた数々の伝統は、他に類を見

ないものばかり。そんな北野での高校生活について紹介していきましょう。

北野高校には一年を通してたくさんの行事があり、驚くべきはその多様さです。六稜祭や体育大会と言った定番行事は勿論のこと、全校生徒がプールサイドに集結して熱い声援を送る水泳大会、粉雪舞い散る淀川の河川敷での断郊競走などなど、耳を疑うようなイベントが盛りだくさんです。そしてその背景に北野高校の面白い特徴が発見できます。

皆さん、北野生について「ガリ勉」などといったイメージをお持ちではありませんか？

とんでもありません。北野高校では、生徒も学校自体も、スポーツや芸術、すべてのことに「本気（マジ）」なのです。その最たる例が音楽フェスティバルです。クラス合唱の発表や音楽系クラブのパフォーマンスが目玉のこの大会。そこでのクラス合唱のレベルの高いこと！すべてのクラスがたった一つの「最優秀賞」の座をめざし、本番一ヶ月ほど前から朝・昼の休憩時間を返上して練習を重ねていくのです。ここまで行事に熱心に取り組む学校も珍しいでしょう。これが北野高校のすばらしい魅力です。何に対しても全力で、マジメに取り組む格好良さを行事の数々を通して感じて欲しいです。

次にお待ちかねの勉強に関する話をしましょう。この学校でまず思い知らされるのは授業の進む速さです。特に数学は息もつかせぬスピードで走り続けます。しかも高校の勉強なので中身も濃く、難しいのです。そんなスピード違反気味の北野の授業。それにがっちり食らいつくには、やはりコンスタントにコツコツ勉強していくしかありません。それではどのような勉強をするのか。

何より時間を割くべきは学校の授業の復習です。理由は単純明快。私たちの一日の活動時間のほとんどが学校で、それも授業を受けることで過ぎていくからです。ここで学んだことを生かさないなんて、もったいないと思いませんか？

授業の復習においてまず最初にするのが、プリントやノートを読み返すことです。ノートは教科書や参考書、さらには作成者である先生の知識をぎゅっと詰め込んだものです。そこに書いてあることを一つ一つ理解していく作業は、復習をするにあたって一番不可欠なものです。習った範囲がつかめたら、問題を解いてみましょう。プリントの内容を頭の中で反芻しながら、一問一問を大切に。これでだいたいの復習は終わりです。細かいやり方はいろいろと試行錯誤しながら、自分にぴったりと合った勉強法を見つけてください。

ここまで主に二つのことに触れました。すべてのことに全力を尽くす格好良さとコツコツ勉強し高校の授業に果敢に食らいついていくことの大切さ。どちらも北野高校で実感してほしい貴重なものです。

しかし、私が最も大切だと思うのが「上を向く気持ち」です。上を向き、高い目標を持ちましょう。そしてその目標をしっかりと見つめ、走り続けるのです。

■【部活も成績も】*****

高1の最初に米国の大学受験を考えました。それには高校三年間の成績・SATというテスト・先生からの推薦状が必要でした。成績に直結する定期テストの時期は人一倍ストレスにさらされていました。そんな私のストレス解消に役立ったのが部活です。集中して勉強できるという意味でも部活をやっていて良かったと思います（米国の入学審査では勉強面だけでなく部活やボランティアも評価の対象になります）。頑張ってください。

保護者からのメッセージ

■【十三を身近に感じる３年間】*****

合格発表の日は雨が降っていました。

できることを全てやって入試を迎えた娘には手応えがあったらしく、不安な表情ながらも背筋を伸ばして十三駅から北野高校への道を歩きます。一方私は片手に傘、もう片方の手にスーツケース。心はドキドキを通り越して、なんかちょっと吐きそう。これでもし不合格だったら何て声をかければいいんだろう。すごく頑張ったのを知っているだけに、慰めとか激励とかの又ルい言葉なんて娘には相応しくない。そしてこの大きめスーツケース。空っぽのこれを転がして帰宅することを想像しただけでちょっと泣ける。もうタクシーにしよう。雨降ってるし、今日くらいはいいよね。私立の入学金の準備もしてあるし、帰宅したらすぐ銀行に行こう。そして晩ごはんのメニューは？残念ディナーにぴったりの食べ物って何？

家を出発してから北野高校に到着するまでの50分間、私の脳はいつもの数倍は働いていたと思います。そして合格発表の瞬間。湧き上がる歓声。

子供が高校生にもなると、親は家に居るだけでは学校の様子なんかはほとんどわかりません。いったいどんな学校生活を送っているのか、わが子以外はみんな天才なんじゃないか、みんな真面目でしっかり者なんだろう。分からないことだらけで心配ですよね。そこでお勧めしたいのがPTA活動です。PTAという大義名分の下に堂々と校内を歩けます。先生方のお話を伺う機会もありますし、部活を頑張っている若者たちを眺めてエネルギーをチャージすることも可能。そして何よりも、同じ立場のお母さん方とお友達になれます。これ、ものすごく嬉しい特典です。中学までは成績トップクラスの子供の親ということで、子供のことで迷いや悩みがあっても「でも賢いんだからいいじゃない」と一笑に付されてしまうことばかり。いや賢いんじゃないで本人かなり頑張ってるんだ、と言ってみても同意や共感を得ることはなく、あきらめて薄く微笑んで終わる会話のなんと多かったことか。

それが北野高校では違います。みんな同じ経験をしていますから、賢いとか関係なくただの親としてストレスなく会話できます。しかも皆さん確実に面白い。子供との会話は減る一方だけど、それをカバーして有り余る楽しさがPTAにはありました。

3年次はコロナの影響でほとんど活動できませんでしたが、1・2年次は活動の帰りに十三でランチに行ったりお茶したり、たまにはお酒も入ったりして、自分も高校生になったような気持ちで過ごすことができました。高校生は酒飲みませんけどね。

■【北野高校 親の卒論？】*****

阪急電車を降り、十三の駅から北野高校までの道を息子の合格発表のため無言で歩いた日から、もうすぐ5年。息子に続いて娘も北野生になり、5年間お世話になりました。娘が卒業すると、私自身が北野高校に出かける機会がなくなってしまうことに何とも言えない寂しさを感じています。この機会に少し振り返ってみたいと思います。

子ども達はそれぞれの高校生活を送りました。息子は合気道部でまさに文武両道をいくすごい先輩たちに刺激を受け、進んでいきました。ホームルームの時間に先生方から受けた講話がとても興味深かったと話していました。普段の授業では聞けない体験談を交えたお話は、将来を考える上でのヒントにもなったようです。入試直前の数学の特別講習では、身動きも取れないくらいの大入り満員の中、皆が真剣に問題に取り組んだと聞きました。

娘は大所帯の陸上競技部に入部し、朝練、昼の整地、各シーズンの大会、その他大会の補助員の仕事など兄よりはるかに多い時間をクラブ活動に費やしました。先生方や先輩、同級生、後輩など多くの人とのかかわりの中で人間関係を学んだようです。中学時代は少数精鋭タイプの陸上部でなんとかついていっているという状態でしたが、高校になってからは、積極的に参加し、手厚いご指

導のおかげで技術的にも上達し、自己記録をどんどん伸ばしていきました。学年全体がすごかったのか体育大会では、リレーで頑張る1年生を見て「今年の1年は体育科あったっけ」(笑)と兄の友人たちがびっくりしていたとも聞きました。仮装の衣装に夜なべしたり、文芸祭の歌の朝練とダンス発表の衣装制作が重なった高2の12月が一番ハードに見えました。

私は、まず開放感のある校庭が好きでした。夕暮れの中保護者懇談を終えて帰る時、クラブの後、歌を合唱しながら歩いている生徒たちを見かけました。その姿にほのぼのしたのを感じ「ああ、素敵な学校だな」と思いました。私が楽しみにしていたものの一つに、図書館からのメルマガもありました。新刊紹介などに添えて移ろいゆく学校周辺の自然のことが書かれていて、季節を感じることができました。また受験を目前に控えた3年生をとてん温かいまなざしで見守り、応援してくださるメッセージに目頭が熱くなったことも記憶しています。

保護者向けの説明会やお手紙では毎回「子信じて、見守る」ということを教えられました。それでも息子の大学受験の時は不安で不安で、何度もマイナスな言葉を口に出しそうになりました。その度に学校からのお手紙と先輩方の合格体験記をバイブルとして読み返し、平穏な心を取り戻していきました。「根拠のない自信」という言葉も学びました。第一志望の大学の合格発表の日に息子の受験番号を見た時「よかったね。北野に通って本当によかったね」と口に出したことを思い出します。

元タレ・ミゼラブルが好きで、海外と日本でミュージカルを鑑賞していたのですが、文芸祭のレ・ミゼラブルでは、ソリストの本格的な歌唱力に驚きました。音楽科でもないのに、多才な生徒の多いこと。また合唱曲では、「群青」が一番心に残っています。クラス皆が気持ちを一つにして清々しく歌う姿に心が熱くなりました。

通学時間が長くて体力的に厳しいこともたくさんあったと思いますが、その時間を費やす価値のある環境だったのではと振り返っています。北野高校生の保護者としての5年間、親も刺激を受け、姿勢を正す機会をたくさん与えていただき、貴重な時間を過ごすことができました。

■【だいじょうぶ だいじょうぶ】*****

縄跳びが飛べなくても補講があります。泳げなくても大丈夫。泳ぎに自信のなかった娘も泳げるように。テストの点が悪くても、欠点でも大丈夫。娘は卒業できる予定です。(笑)

体育大会、水泳大会で新記録を出せなくても、芸術的な才能がなくても、三年間まじめに行っただけで、もらえるバッジもあります。断郊10位以内でもらえた木の葉バッジは、学業面で低空飛行だった娘の唯一の誇りです。ダンスができなくてもチームメイトに助けられ、文芸祭でダンスを披露し、体育大会の仮装でも優秀賞をいただきました。

娘の所属した部は、まったく勝てませんでした。最後の公式戦と天高戦(天王寺高校との伝統の一戦)のみ勝つというミラクルを起こしました。娘がシュートを決めたのを見たのはこれが最初で最後です。決して恵まれた高校生活ではありませんでした。一年の体育大会は雨で、北野名物“米騒動”(俵を担いで走るリレー)は中止。二年の修学旅行は大雨と地震で延期。鉄道全面運休で歩いて学校から帰ったこともあります。拳銃事件で天高戦も延期。それでもかと心折れる苦しさ、やるせなさを感じました。試合で脳震とうを起こし、救急搬送。顧問の先生からの電話で頭が真っ白に。インフルエンザで一週間休んだ時は真っ青に。授業のスピードがものすごく早いのですが、友達のノートに助けられました。

尾てい骨骨折で断郊が走れなくなり、二つ目の木の葉バッジはダメでした。書き連ねるとかなり悲惨な高校生活ですね。「今回、欠点ない？」がテストの度にかかる言葉です。「宿題考査は成績に入らないから、大丈夫！」「大丈夫って何！？」とツッコミたくなることばかり(笑)、でも強くなりました！一生の友ができました。「あいつ今何してる？」に将来出演すること間違いなし。

ノーベル賞の吉野先生。ラグビーワールドカップ解説者の元日本代表主将の廣瀬さん一娘の同

級生もいずれと楽しみにしています。ケガばかりの部活動でしたが、だからこそ娘は医療の道を目指すことに決めました。「北野に来てよかった」と娘がポツリ。「北野に行かせてよかった」と私。どうか成績がよくないからといって部活をやめろと言わないで下さい。受験のお守りしてくれた先輩や卒業生が結婚の報告にくるコーチ。救急車で病院まで付き添ってくださった顧問の先生。一生の友だちとの涙と汗でキラキラのアオハルを見守って下さい。

受験は団体戦です。One for All. All for One. 娘は出ていませんが、私は“レミゼ”のファンで、三年間文芸祭に通いました。絶対見る価値あります。ココロがふるえます。体育大会、三年男子の応援合戦は笑えます。そして、感動します。子どもに嫌がられても授業参観に行ってみて下さい。歩く辞書のような先生。うっとりするイケメンボイスの先生etc. 市民公開講座のような面白い授業ばかりです。三年間はあっという間です。どうぞ楽しんで下さいね！

■【息子と共に】*****

息子の成長を一番感じたのは、大学選びの時でした。人と比較するのをやめ、自分に集中し、真剣に自分の将来を考えながら、ベストな進路を探していました。

自分の得意なことは何だろう。

自分の好きなことは何だろう。

自分にできることは何だろう。

苦しくても挑戦したいことは何だろう。

昭和の学歴社会を生きた古い考えの母親を少し冷ややかに見下ろしながら、将来を考える息子を見ていると、大学名にこだわっている自分がだんだん恥ずかしく思え、私も変わろうと思えました。あるがままの息子を見守って信じること。美味しい料理を作って笑顔でいること。

母としてできる一番の子どもへの贈りものだと思います。

■【北野ファンより】*****

娘が北野高校に入学した春、初めての電車通学で家を出るのは朝7時。初心者ながらすぐにバレーボール部への入部を決め、毎晩19時過ぎの帰宅となりました。疲れているだろうに「今日授業で聞いたお話はおもしろかった！先輩に紅茶をご馳走になった！ピアノがすごく上手な同級生がいる！」などなど、嬉しそうに生き生きと話して聞かせてくれました。北野高校は、片田舎でのんびり育った娘に、広く新しい世界がたくさんあることを教え始めてくれたのだと思います。そのうちに私は、娘から聞く学校の話に夢中になりました。娘のクラス写真を借り出し、同級生のお名前を片っ端から覚え、まるで自分が女子高生のクラスメイトになったかのように（厚かましい！）、行事やクラブの話に一喜一憂するようになりました。クラブの試合には「お菓子差し入れの係だから」などと言ってやや強引に見に行ったこともあります。授業参観に至っては、私が皆勤賞を頂けるかも？というくらい毎回お邪魔いたしました。

ところでこの授業参観、ぜひとも保護者の皆様にお勧めいたします。どの科目も内容が濃く、子ども達が真剣に授業に取り組む姿勢は、立派なアスリートのように頼もしく感じられ、また、緊張がほぐれる瞬間には、高校生達の爽やかな空気感を感じ取ることができます。一方、それぞれの先生方が進められる授業は、1分1秒を無駄にされない見事な展開で、情報が飛び交い、私までもがぐぐっと引き込まれるほどの熱っぽさと勢いを帯びていました。先生方も子ども達も、このパワーを毎日5時限継続されていることに、私は心から感嘆しております。

他にも、体育大会・文芸祭・課題研究発表会など、多くの行事に保護者として見学・応援に参りました。どれも素晴らしく生徒さんが一生懸命で、クラスや友達と一緒に高みをめざしていることに心打たれます。感動したあまり、クラス写真で覚えた顔を拝見した途端、「〇〇さんおめでとう！」と馴れ馴れしく声をかけてしまうこともしばしばでした。そんな突然の時でも、お行儀良く親切に挨拶してくれる、笑顔が素敵な生徒さんばかりでした。

『六稜魂』 とは ～卒業生アンケートから

■【包容力 寛容 文武両道 質実剛健 (87期、男性)】*****

ただの進学校やガリ勉ではない。勉強一本槍ではなく、深い見識に裏打ちされた先生方の懐の広さを感じ入りながら勉強に励むことができた。縄跳びに水泳に断郊は、頭の良さだけが人間の価値ではないことを教えてくれた。十三の繁華街は、世の中には知らない世界があるという、将来の社会人としての自覚にも大きく影響している。

■【志を高く持ち続けること (89期、女性)】*****

誰しも、入学すると、先生がたやクラスメートの優秀さに、それまで持っていた”自信”がペシヤンコになります。それから北野のよいところですが、本当に「優秀」であるということが、どんなことを3年間をかけて知ることになります。薄っぺらな成績ではなく、真の教養や学びへの姿勢を身につけ、結果、志高く生きていくことに繋がるように思います。

■【プロフェッショナル (96期、男性)】*****

自らの信ずる道を突き進み、各々が選んだ道でプロフェッショナルとなる。

■【忍耐、個性、パイオニア精神 (97期、女性)】*****

自分がやろうと決めたことは何があってもやり抜く。我が道を歩き続ける。人がやらないことを(できれば率先して、一番に)やる。

■【激烈 (99期、男性)】*****

『仕事をするからには一流であれ、一流であるからには努力することに激烈であれ』という大学での恩師の言葉と相通じるところがあると思っています。

■【文武両道 (101期、男性)】*****

入学前から体育の授業がきついという噂を聞いていましたが、あそこまでとは思いませんでした。北野入学まではどちらかというと体育は苦手科目でしたが、あの体育のおかげで、『決してあきらめない。』『やればできる。』という根性が身につきました。

■【なんとかなるさ、でなけりゃなんとかするさ (101期、男性)】*****

難しい数学の数式、大量の英語の構文、体育の追試などなど、あれだけ大変なことをこなせた(うまく誤魔化した?)のだから、社会に出てもちょっとやそっとのことじゃ動じないし、へこたれない、今にしてそう思います。10月になっても、一面藻がはってても人間、泳げるものなんだということも、身をもって知りました。人間やってやれないことはないぞ、と。要は「人生なんとでもなるし、それで無理ならなんとかすればいい」という自信をつけてもらったということです。

■【気 (104期、女性)】*****

入学してすぐ、外観だけでなく中の空気も、今までに味わったことのないような緊張感に満ちていることを感じとりました。それから卒業するまでの3年間、学校のことが重荷に感じられることが幾度もあったし、自尊心が瞬時に打ち砕かれたことも多々ありました(笑)。でも、楽しかった。歴史が作ってきた空気を受け継ぐだけでなく、自己のプライドを保ち、時には落ち込み、またそこから立ち直っていくことで、北野の生徒になり得たのだなぁと、今になって思います。

■【何に対しても、一生懸命であること (106期、女性)】*****

私は北野で学問よりもむしろ、人は一生懸命やればできること、一生懸命何かに打ち込むことのできる人は信頼に足る人で、尊敬に値する人であること、一生懸命やることの価値を知っていることが人生に大きな影響を与えることを学んだので。

■【自主自立 (110期、女性)】*****

充実した高校生活を送ったということだと思います。ある意味、あらゆる機会を与えられていました。選ぶも選ばないも自由。やる気のある者には環境が整えられているし、やる気をどこに向けられるかも自由です(部活でも、勉強でも、学校以外のことがらでも)。生徒を必要以上に子ども扱いしない、生徒の自主性を信じる校風でした。あの3年間の先にしか、私の今はない、そして将来はない、と思えます。

■【アツい野心 (114期、女性)】*****

北野生には夢に向かって一生懸命になれる人が多いです。高い目標を持ち、周りの人や自分自身に決して負けないという強い意志を持っている人もたくさんいます。「これだけは譲れない!」という強い想いを抱いている人もいます。でも、おごり高ぶることはないのです。そういう「アツさ」が「六稜魂」であり、それを持っているのがいわゆる「古きよき北野生」なのではないでしょうか。

■【最後まで諦めない根性と熱意 (115期、女性)】*****

厳しい教育カリキュラムの中で、これは本当に身につきました。というか、これがなければ、北野で三年間生きていけないと思います・・・。

■【チャレンジすること (116期、男性)】*****

水泳でも、持久走でも、縄跳びでも、一見達成困難な事柄に挑戦し、やり遂げることで何かを得る。(得たことはそのときはわからないが)勉強だけなら誰でもできる。クラブ、友人関係、恋など・・・勉強以外の事こそが人間をつくる。そして、やってみないとわからないことがある。

■【当たり前がすごい (120期、女性)】*****

一般に難しいと思われることを、当たり前のように求められ、それが当たり前だと思いながら過ごし、気が付けば当たり前のようにこなしている自分がいて、それと同様に難しいことを当たり前のようにこなす友人が当たり前のようにいること。

■【自由と没頭 (121期、男性)】*****

入学したころは、皆さんの多くが良くも悪くも「やりたい/やりたくない」と「やらないといけない」に囚われていると思います。真摯に学校生活を送り抜くと、この欲求や義務感から離れた、自分の「ほんとうにやりたいこと」が見つかります。



手塚治虫氏(59期)によるイラスト

- 阪急電車十三駅下車 南西へ約700m
- JR神戸線塚本駅下車 東へ約1100m
- JR大阪駅より大阪シティバス
42系統「中島二丁目」行き
または43系統「西島車庫前」行き
または92系統「福町」行きで
北野高校前下車すぐ（JR大阪駅より約10分）



大阪府立北野高等学校
令和3年度学校説明会資料

発行日 令和3年7月
発行者 大阪府立北野高等学校

〒532-0025 大阪市淀川区新北野2丁目5番13号
Tel 06(6303)5661 Fax 06(6303)3493
Email z-kitano@sbox.osaka-c.ed.jp
HP <http://www.osaka-c.ed.jp/kitano>